

令和7年度実施分 協働事業・市民活動助成事業 報告シート



はじめに

松戸市では、「豊かで活力ある地域社会の実現」をめざして、市民及び市民活動団体、民間事業者と市による「協働のまちづくり」を推進しております。

その支援として、市民活動団体・民間事業者の活力を活かし、市と事業の企画から実施までを協力して行う「協働事業提案制度」と、新たな市民活動の立ち上げや既存の活動を発展させる「市民活動助成制度」があります。

【協働事業提案制度】

協働事業は、市民活動団体や民間事業者と行政のそれぞれが強みの部分を活かし、身近にある地域課題の解決に向けて、協力して実施する事業です。

協働事業提案制度は、市民活動団体や民間事業者が、協働事業を提案し、市と協力して、その事業を企画し、実施する制度です。

令和7年度は2事業実施しました。

【市民活動助成制度】

新たな市民活動を立ち上げるため、又は、既存の活動をさらに発展させるための事業に要する一時的な資金を助成することで、市民活動の活性化を図り、豊かで活力ある地域社会の実現に貢献することを目的とします。

新しく事業を立ち上げるときや、今行っている事業を発展させたいときに提案できる「スタート助成（助成上限額 10 万円）」と、既存事業を拡大、発展させたいときに提案できる「ステップアップ助成（助成上限額 30 万円）」の2つの部門を設けております。

令和7年度は7事業（スタート助成5事業、ステップアップ助成2事業）実施しました。

目次

令和7年度協働事業・市民活動助成事業 事業概要

【協働事業】	ページ
○ まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業	まつど地域活躍塾つながりの会 政策推進課 SDGs推進担当室 1
○ みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム みどりと花の課 2
【市民活動助成事業（スタート助成）】	ページ
○ 子育て中の方が手芸を楽しむ事業	Handicraft circle bijou ハンディクラフト サークル ビジュー 3
○ 手作りおもちゃカフェ事業	子育て＋プラスゆとりにっこり 4
○ 矢切地区における子どもの遊び場創設事業	あそびパーク やきりの 5
○ みんなで創る未来の都市農業 コミュニティ農園 事業	まつど市民の会 6
○ 松戸の歴史的文化遺産の復元・活用研究事業	松戸の地理・歴史探訪調査会 7
【市民活動助成事業（ステップアップ助成）】	ページ
○ 幸谷関さんの森昔のくらし館設置及び冊子発行事業	関さんの森エコミュージアム 8
○ 四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業	小金原みんなでわくわくする会 9
● 協働のまちづくり基金について	10
● 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(令和7年度)	11

まつど de SDGs の輪を広げよう プロジェクト事業		団体名	まつど地域活躍塾つながりの会
		事業担当課	松戸市 総合政策部 政策推進課 SDGs 推進担当室
事業費	98,170 円	自己資金	12,607 円
		負担金	85,563 円
令和7年度（2025年度）事業の取り組み【報告】			
本事業は、「市民が SDGs を自分ごととして捉え、行動につなげること」を目的に、体験型・対話型の学習機会を提供する取り組みとして実施した。主な取り組みは以下のとおりである。 ① SDGs フェスティバルの開催（1回） 2025年8月4日、キテミテマツドにて、子どもと保護者を対象にクイズラリー、ミニ講話、アートワークショップを実施。楽しみながら SDGs に触れる機会を創出した。 ② SDGs 地域学習会の実施（2回） ・第1回：松戸市消費生活展（2025年10月4、5日）に出展し、「食品ロス削減」をテーマにパネル展示とクイズラリーを実施した。 ・第2回：映画上映会（2026年1月29日）を開催し、映画『食べることは生きること』の鑑賞と対話を通じて、食と SDGs の関係を学ぶ機会を提供した。 ③ 市民対話集会の開催（1回） 2026年3月9日、SDGs 関係者（行政・企業・市民団体等）が参加する対話集会を開催し、松戸市における SDGs 推進の課題や今後の方向性を整理した。 ④ 教材・情報発信の整備 SDGs パネルや事例集を作成し、各イベントで活用するとともに、市ホームページを通じて情報発信を行った。 これらの取り組みにより、「楽しさ」「生活実感」「対話」を軸とした多面的な SDGs 普及啓発を行った。			
令和7年度（2025年度）事業の成果			
本事業の成果は以下のとおりである。 ① 参加者数 ・ SDGs フェスティバル：約30名参加 ・ 地域学習会 ・ 第1回松戸消費生活展：約750名来場 ・ 第2回 SDGs 映画祭：89名参加 ・ 市民対話集会：18名参加			
			
			SDGs 映画祭会場の様子
② 理解・意識の変化 ・ クイズやワークショップを通じ、子どもたちが SDGs を体験的に理解 ・ 食品ロスや食の問題を「自分ごと」として捉える来場者が増加 ・ 映画上映後アンケートでは「新しい気づき」「自分ごと化」の回答が多数。 ③ 行動意識の可視化 ・ 子どもたちから「ごみを減らす」「電気を大切に使う」など具体的行動意識が確認された。 ④ 地域連携の強化 ・ 対話集会では、市民・団体・行政が対話を通じて課題と可能性を共有 ・ 対話集会の成果を取りまとめ、担当課へ提出			
【団体紹介】			
まつど地域活躍塾つながりの会は、2017年に松戸市で実施された「まつど地域活躍塾」の修了生有志により2019年に設立された団体である。地域活動の実践と人材のつながりを基盤に、地域の活性化と市民主体のまちづくりを推進している。近年は SDGs 推進チームを中心に、市民が SDGs を身近な課題として理解し、行動につなげるための啓発活動に取り組んでいる。 《問合せ先》 まつど地域活躍塾つながりの会 SDGs 推進チーム Email: sdgsmatsudo@gmail.com Facebook: https://www.facebook.com/matsudo.tsunagarinokai 担当: 佐藤 秀樹			

みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業	団体名	エディブルウェイ プロジェクトチーム	
	事業担当課	みどりと花の課	
事業費	477,318 円	自己資金	100,018 円
		負担金	377,300 円
令和7年度（2025年度）事業の取り組み【報告】 (1) -1 食べられる景観づくり(沿道の個人宅、事業所前) 沿道の個人宅前や事業所前にプランターを設置し、食べられる景観づくりを実施。外部講師を招き、土を入れ替えずに栽培するリレー栽培講座を開催し、持続可能な栽培方法を学んだ。また、有志による苗の栽培に加え、タネ・苗配布交換会では、地域住民同士の交流の機会を創出した。 (1) -2 食べられる景観づくり(まちのプランター) 地域沿道 11 カ所の大型プランターで、食べられる景観づくりを実施。月 1 回のお世話会とミニワークショップにより、参加者の交流を深めると共に、管理活動参加への動機づけや知識向上にも役立てることができた。 (2) ワークショップ開催 ハーブ講座、クラフトワークショップを開催。市内他地域からの参加やリピーターも多く、大変好評に終えることができた。 (3) 情報発信 地域の掲示板、チラシ配布と SNS（Instagram、LINE 等）を併用し、活動周知を実施した。また、活動動画を作成し、松戸市 YouTube で配信することで、広く周知を図った。			
令和7年度（2025年度）事業の成果 沿道の地域拠点 1 カ所（学童保育）に新たにプランターを設置した。また、地域包括支援センターや学童保育などの地域拠点施設では、利用者とともに年 2 回の植え替えを実施している。 本事業とは別に、「みどりの愛護のつどい」の機運醸成を目的とした取り組みとして、市内他地域の施設前 23 カ所へのプランター設置支援を行い、来年度も継続支援を予定している。 まちのプランター活動では、月 1 回のお世話会を開催し、多世代が参加（平均約 17 名、延べ 169 名）。毎回、植物を活用したミニワークショップを実施し、栽培や管理活動への意欲向上につなげている。 また、クラフトワークショップや植え替え講座では、半数以上が市内の他地域からの参加者であり、活動の広域的な PR ができた。			
【団体紹介】 沿道の住宅や店舗前、地域の拠点、街中のプランターなどで、野菜やハーブなどを育てる「食べられる景観」づくりや、植物クラフト活動を通して、生活に身近な場所での園芸活動を通じ、住民の交流を促進し、地域コミュニティ向上、地域環境を学び合う場を創出しています。 《問合せ先》エディブルウェイプロジェクトチーム [メール] info@edibleway.org [HP] http://edibleway.org/ [Instagram]@edible.way			



子育て中の方が 手芸を楽しむ事業	団体名	Handicraft circle bijou ハンディクラフト サークル ビジュー
事業費 120,649 円	自己資金 20,649 円	助成金 100,000 円
令和7年度（2025年度）事業の取り組み【報告】 本事業では、育児中の方の居場所づくりを目的に、制作会およびワークショップを実施した。 ①制作会（全5回）では各種手芸制作を行い、参加状況に応じ柔軟に運営した。 ②外部イベントでは活動周知と交流機会の創出につながったが、対象層への参加促進には課題が見られた。 ③「みんなの制作会」では想定を上回る参加があり交流促進に寄与した。 ④未就園児対象事業では見守り体制を整えたが、運営面での改善点が確認された。 		
令和7年度（2025年度）事業の成果 目標①制作会 アンケートで、実施前が低評価であり、実施後は高評価に向上することを目指す。 1回あたりの人数10人、うちリピーターが5割以上。新規1割以上。 →全5回実施し、参加者は各回4～10名。アンケートでは実施後に肯定的項目が向上し、否定的項目は減少した。リピーター中心に継続的な居場所として機能したが、新規参加は目標未達となった。 目標②みんなの制作会へ、親子で参加してもらうようチラシを20人へ渡し周知をする。 →外部イベントにてチラシ配布（8枚）を実施し周知を行ったが、配布数は目標未達であった。 目標③みんなの制作会 大人10名子ども16名、うち制作会のリピーター5割以上。新規2割以上。 →15組（大人15名、子ども22名）が参加し、リピーター・新規ともに目標を達成した。アンケート結果から交流促進および気分改善の効果が確認された。 目標④ちいさな制作会 活動を周知してもらい、制作会へも興味を持ってもらう。参加者大人10名子ども10名。新規2割。 →10組（大人10名、子ども14名）が参加し、新規参加を含め目標を達成した。気分転換や関心喚起の効果が見られた。		
【団体紹介】 ものづくりを通して、子育て中の忙しい時間から少しだけ解放されて、育児をしている方の心の安定、『自分のための夢中になれる時間』を提供しています。 《問合せ先》 Handicraft circle bijou ハンディクラフト サークル ビジュー TEL : 090 - 4817 - 5166 e-mail : bijou0507m@gmail.com		

手作りおもちゃカフェ事業	団体名	子育て＋プラスゆとりにつこり
事業費	143,664 円	自己資金 43,664 円 助成金 100,000 円
令和7年度（2025年度）事業の取り組み【報告】 本事業は、①子どもの孤立化を防止するために、子育て団体と協働しながら手作りおもちゃを一緒に制作して多世代交流の楽しさを体験する。②高齢者がこれまで培ってきた裁縫や工作のスキルを活かし、創作の楽しさや世代を超えて交流する居場所を提供することを目的に実施しました。事業内容は、「手作りおもちゃカフェ」と「出張おもちゃカフェ」の二本立て、新松戸市民センターでの定例開催や他団体のイベントに出向き出展しました。手作り品としては既製品にない手作りのぬくもりが伝わるように、オリジナルの麻ひも人形やフェルトおもちゃの制作、段ボールの輪投げの輪に色付け、レジンや割り箸ゴム鉄砲の制作体験などを通じ、外部講師と高齢者が親子と一緒に楽しみながら交流する場を提供しました。また、各種の制作体験ではこどもが夢中になり、初めての制作体験や失敗のやり直しをともに見守り、楽しむ機会を創出して地域での孤立化や体験格差の解消につなげました。   		
令和7年度（2025年度）事業の成果 手作りおもちゃカフェ事業における各種事業は概ね目標を達成し、開催回数 19 回・延べ参加者数 600 人以上ともに計画を上回る成果が得られ、参加者の満足度調査によると評定 4 以上（5 段階評価）で、直接に「楽しめた」などの声や笑顔が見られました。他団体のイベントに出向く出張おもちゃカフェでは、協働団体との連携も拡大し、継続的な協働を望む声が寄せられました。出張事業により参加者の増加や活動範囲が広がり、従来のイベントでは接点を持ちにくかった子どもへのアプローチにもつながりました。加えて、外部講師の招聘により試作品を検討することで、高齢者による新たなおもちゃの提案・制作が進み、世代間交流の中で双方の笑顔が見られる場の創出に寄与しました。		
【団体紹介】 子育て＋プラスゆとりにつこりは、高齢者の経験と知恵を活かし手助けすることで、子育てに奮闘する親の笑顔とゆとりをもたらす活動をしています。基本的に毎月第3日曜日、11時～14時、新松戸市民センター3階で定例「おもちゃカフェ」を開催しています。おしゃべりしながら、手芸や工作を一緒に楽しみませんか。初心者の方も大歓迎！赤ちゃんやお子さんをしてくれるシニアも沢山、どうぞ気楽に立ち寄って下さい。参加費 300 円（一家族何人でも）材料費・軽食付。ボランティア募集中！ 《問合せ先》 団体名：子育て＋プラスゆとりにつこり 住所：松戸市千駄堀 1485-103 電話：090 - 4431 - 4632 Eメール：info.yutoniko@gmail.com HP: https://yutonico.com 担当者：河村		

矢切地区における子どもの 遊び場創設事業	団体名	あそびパーク やきりの	
事業費	168,460 円	自己資金	68,460 円 助成金 100,000 円
令和7年度（2025年度）事業の取り組み【報告】			
本事業は矢切地域において子どもが主体性をもって自由に遊ぶことができ、また多様な世代と関わるができる環境づくりを目的として実施した。 主な取り組みとして、坂川親水広場におけるプレーパークの開催、地域の農地を活用した農業体験イベント、子どもや子育てをテーマとした映画上映会を実施した。 プレーパークは計4回開催し、子どもが主体的に遊べる場を提供した。農業体験イベントは全5回実施し、土や植物に触れる体験を通じて継続的な参加や交流が生まれた。 映画上映会では51名の来場があり、上映後の交流も含め、子どもや子育てへの理解を深める機会となった。また、SNSやチラシ配架等による周知活動も行い、地域内外への情報発信に取り組んだ。			
令和7年度（2025年度）事業の成果			
プレーパークでは1回あたり平均14人（休日）の参加があり、地域における身近な遊び場として一定のニーズがあることを確認できた。参加費を徴収しない形としたことで、誰もが参加しやすい場づくりにもつながった。 農業体験イベントは目標4回に対し5回実施し、延べ多くの参加者を得た。特に継続参加やリピート参加が見られ、地域内での関係性の醸成や家庭や学校以外の居場所としての機能が生まれた。 映画上映会は目標60人に対し51人の来場であったが、上映後の交流を通じて子どもや子育てに対する理解や関心を高めることができた。 一方で、天候による中止または延期や人員確保、地域内への周知不足などの課題も明らかとなった。			
【団体紹介】			
あそびパーク やきりのは、矢切地域において子どもが安心してのびのびと育つことができる環境づくりを目的に活動している団体である。 プレーパークや農業体験、映画上映会などを通じて、子ども・子育て世帯と地域住民が相互に関わり合いながら、地域全体で子どもを見守る関係づくりを目指している。 《問合せ先》あそびパークやきりの メールアドレス：parkyakirino@gmail.com Instagram：https://www.Instagram.com/asobipark_yakirino ASOBIPARK_YAKIRINO			

みんなで創る未来の都市農業 コミュニティ農園事業	団体名	まつど市民の会
事業費 40,033 円	自己資金 22,700 円	助成金 17,333 円
令和7年度（2025年度）事業の取り組み【報告】 本事業は、松戸市における農業の担い手不足や農地減少といった課題に対し、市民が農業に関わる機会を創出し、食や農を通じたコミュニティ形成や都市農業の理解促進を図ることを目的として実施した。 実施内容としては、複数の農地において土づくりや草刈り等の整備・管理を行い、野菜の栽培（苗づくり、植え付け、管理、収穫）を実施した。また、米ぬかやおが粉を活用した土壌改良にも取り組んだ。これらの活動と連動し、ジャガイモやサツマイモ等の収穫体験を実施し、地域住民や子どもたちに農業体験の機会を提供した。 あわせて、SNSによる情報発信、農業への関心を高めるための上映会の開催を通じて、食や農への理解促進および地域交流の機会を創出した。さらに、次年度の生産計画の作成および活動報告を行い、事業の振り返りと今後の方向性を整理した。 一方で、実働メンバーの確保が難しく、猛暑等の影響もあり、計画通りの実施には至らなかったが、収穫体験には一定の参加があり、農業への関心の高さと今後の継続に向けた基盤を確認することができた。		
令和7年度（2025年度）事業の成果 ・農園参加家族（目標 10 家族） 実際に畑の見学や作業に参加した者は 20 名であり、家族単位では 6 家族で目標は達成しなかったが親や友人同士の参加もあり、関心層の形成につながった。 ・収穫体験（目標 25 組） 計 23 組が参加し、概ね目標に近い成果となった。 ・上映会（目標 50 人） 参加者 15 人に留まり、周知方法に課題が残った。 ・講座（目標 40 人） 未実施となり、目標未達成であった。 ・料理教室（目標 10 組） 未実施となり、目標未達成であった。 総じて、収穫体験は成果が見られた一方、体制不足や周知の課題により一部事業は未達となったが、参加希望者の増加など今後につながる基盤は形成された。		
【団体紹介】 市民・行政・団体が連携しながら、地域課題の解決やコミュニティ形成に向けた取り組みを検討・実践しており、「松戸で良かった」と感じる人を増やすことを目的としている。 《問合せ先》まつど市民の会 千葉県松戸市五香西 5-3-3 080-4710-9988 Eメール matsudoshiminokai@gmail.com ホームページ https://ameblo.jp/matsudocitizen/ 担当 石井嘉隆		

松戸の歴史的遺産の復元・活用 研究事業	団体名	松戸の地理・歴史探訪調査会			
事業費	284,654 円	自己資金	210,923 円	助成金	73,731 円

令和7年度（2025年度）事業の取り組み【報告】

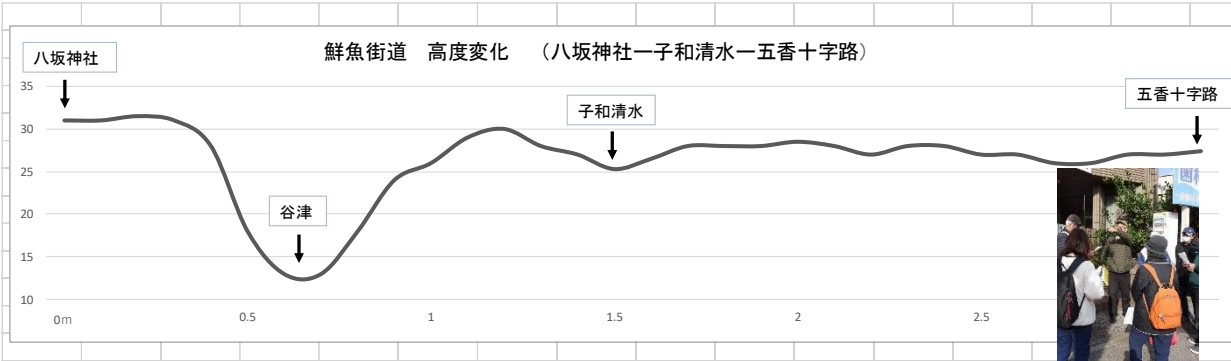
①事業にあたっての現状認識、問題提起
当団体の主な事業は、昔の松戸にとって重要な交通路であった鮮魚街道とその街道筋にあった子と清水を再考し、歴史的文化財資源として価値を見出して復元して行きたいという思いでの取り組み。なお、これまでの活動で、松戸市の担当、関連機関等で情報収集を行ってきたが、目的の情報や資料を得るのは難しく、松戸市内および周辺自治体の関連（博物館、資料館、教育委員会、研究者等）での資料収集や関係者から情報収集を進めてきた。行動時間、調査研究経費や調査、情報の整理についても予想以上に多く掛かることで、事業の完成には至っていない。なお、活動経費（交通費関係、資料収集のための費用）負担が多いので、経費の工面や計画、整理調整が必要となった。

②事業立案
地元からの情報収集限界を感じつつ独自の方法（他市町からの情報や地元住民への聞き取りなど）を強化し、調査を通じて、これまで解明できていなかった旧街道筋部分の概要が解明されつつある。

③事業の市民への享受
これまで明らかにした旧街道筋（鮮魚街道）と子と清水の研究については、金ヶ作陣屋研究会や松戸市立博物館等への説明や現地案内（巡検）等を通じて市民へ周知してきた。

令和7年度（2025年度）事業の成果

- 既存の地形図や旧版の地形図を利用し過去と現代の重ね合わせの地図作製作業をすすめてきて、現在は無くなってしまった過去の鮮魚街道の一部（五香～常盤平～八柱の道筋を再現した。
- 地形・水系から想像する子と清水の昔の姿と旧鮮魚街道の実態について調べたが、子と清水の過去の実態が松戸市の担当課からの情報を得られず、正確な解明できず、目標の昔の景観の再現は現段階で作成が出来ていない。なお、文献資料や聞き取り調査等から想像して子と清水の昔のイメージ画を作成した。
- 調査研究の説明会および現地巡検を市民参加型で開催し、活動内容の子と清水や鮮魚街道についての周知を行った。



【団体紹介】

松戸の地理・歴史探訪調査会

松戸市の発展に寄与した歴史的文化的文化財資源として重要な「子と清水」「鮮魚街道」ほか、松戸および周辺地域との連携しながら地理・歴史の発掘をテーマに研究・調査を行っている活動グループ。

《問合せ先》

メール：mto_h89@nifty.com 電話：090-6104-0818 代表：松尾

幸谷関さんの森 昔のくらし館設置 及び 冊子発行 事業	団体名	関さんの森エコミュージアム
事業費 362,462 円	自己資金 62,462 円	助成金 300,000 円
令和7年度（2025年度）事業の取り組み【報告】 松戸市幸谷の関家は、幸谷村の名主を務め、江戸時代に建てられた3つの蔵と門が現存し、蔵には昔の生活用品や古文書が保存されています。これらを幸谷地区の歴史的・文化的な資産として公開し、次世代へ引き継ぐことを目的に、以下の3点を中心に取り組みました。 （1）関家に残る古文書を読み解いた成果を1冊の本『関家の古文書をよむ』にまとめる。 （2）蔵に残る昔の生活用品を調べ、蔵を改装した『昔のくらし館』に展示する。 （3）『昔のくらし館』開館記念のイベントを実施する。 事業は予定どおり終了しました。事業のまとめとしておこなった『昔のくらし館』開館記念のイベント（3/29開催）には多くの市民が来場。来場された方には『関家の古文書をよむ』やパンフレットをお渡しし、関家の庭の桜や200年以上の古木、熊野権現、江戸時代の門や蔵をご案内。昔のくらし館や古文書コーナーでは、昔の生活用品や古文書の説明をさせていただきました。 江戸時代建造の薬医門 『昔のくらし館』 古文書コーナー		
令和7年度（2025年度）事業の成果 （1）『関家の古文書をよむ』（A5版192頁）を発行しました。関家の古文書を調査して読み解いた成果をまとめた本です。市内の中学校・高校・公立の図書館にも置いてあります。 （2）『昔のくらし館』を開館しました。関家の蔵に残る昔の生活用品を調べ、江戸時代に建てられた築240年の蔵を改装して、展示しています。『昔のくらし館』は、当面は月1回程度の限定公開です。公開日等の詳細はHPをご覧ください。 （3）『昔のくらし館』開館記念イベント開催し、271名が来場しました。また『昔のくらし館』のパンフレット（A4版カラー12頁）を作成しました。パンフは今後も来館された方にお渡しします。		
【団体紹介】 新松戸駅から徒歩10分、市街地の中にある「関さんの森」を、自然・歴史・文化を学ぶ「野外博物館」ととらえて活動しています。関さんの森の自然、関家に残る江戸時代建造の門や蔵、蔵に保存された昔の生活用品や古文書について、関さんの森を育む会と連携しながら、調査・保全（保存）・活用などをおこなっています。 《問合せ先》 関さんの森エコミュージアム 所在地：松戸市幸谷131 HP：http://www.seki-mori.com/ 連絡先電話：090-4667-0209 Eメール：junnen@nifty.com 担当者：山田		

四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業		団体名	小金原みんなでわくわくする会	
事業費	227,106 円	自己資金	27,516 円	助成金 199,590 円
令和7年度（2025 年度）事業の取り組み【報告】				
1. 目的；小金原地区の SDGs 活動テーマを SWOT（強み弱み）分析から抽出し、世代を越えて明るく住み易い地域社会の発展に寄与すること。				
2. 実施内容；本 SDGs 活動は 4 年目を迎えるに当たり、3 テーマに絞って、実践活動の集大成を目指すと同時に、翌年度に継続できる新たな地域活動として定着させる。				
【テーマ 1：花き栽培とコンポスト落葉堆肥の活用】				
やまばと公園内のしだれ桜周り、南西角地に追加し、道路沿いの南面と西面の花壇設置認可を取得した。公園内落葉をコンポストに集積（三丁目町会の支援）し、完成した落葉堆肥を用いて市から追加支給頂いた花苗で公園美化を推進した。				
【テーマ 2：町民講座】				
エンディングノート等高齢者向け講座だけでなく、わくわく子供会を開催し、幅広い世代に身近な講座として、浸透させた。				
【テーマ 3：第 3 回四世代交流会】				
10 月にわくわく BBQ 大会、1 月にわくわく餅つき大会を企画したが、BBQ は雨天で中止。餅つき大会は、子供餅つき、紙芝居も採り入れて大好評。				
				
コンポスト		花壇花植え		
				
町民講座		わくわく子供会		餅つき大会
令和7年度（2025 年度）事業の成果				
1）SDGs 定例活動会；活動の企画立案、4 回実施、参加者延べ 35 名				
2）やまばと公園の落葉収集・コンポスト堆肥づくり及び花壇の拡張と花植え 12 回実施、参加者延べ 146 名				
3）町民講座と子供会の開催；町民講座 3 回 参加者延べ 23 名、子供会 2 回 参加者延べ 59 名（内子供 20 名）				
4）第 3 回四世代交流会；餅つき大会 約 100 名（内子供 18 名）参加				
【団体紹介】小金原地区で、町会と連携して SDGs の実践活動を推進しています。明るく住み易い生活環境実現のため、公園内のコンポストで落葉の堆肥づくりや、花壇の花植えを行っています。また、町民講座、子供会も開催していますので、学生や若い世代の方々、シニアで花や堆肥づくりに興味ある方は是非参画ください。				
《問合せ先》 小金原みんなでわくわくする会：松戸市小金原三丁目 4-5 小金原会館内 Tel:343-4816、Fax:343-4824、e-mail:nobifuna@aol.com、担当者：船橋				

＊協働のまちづくり基金＊

令和7年度は 市民活動助成事業

7事業 を応援しました！！

スタート助成

手作りおもちゃカフェ事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8
子育て中の方が手芸を楽しむ事業・・・・・・・・・・・・・・P9
矢切地区における子どもの遊び場創設事業・・・・・・・・・・P9
みんなで創る未来の都市農業 コミュニティ農園 事業・・・・・・・・P9
松戸の歴史的文化遺産の復元・活用研究事業・・・・・・・・・・P9

ステップアップ助成

幸谷関さんの森昔のくらし館設置及び冊子発行事業・・・・・・・・P6
四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業・・・・・・・・P7

【 協働のまちづくり基金とは 】

市民、市民活動団体、事業者の皆様から寄せられた寄附金及びその同額を市費で積み立てるマッチングギフト方式を取り入れた基金です。この基金がまちを明るく元気にする「市民活動助成制度」の原資となっています。

市では、皆様からの寄附金のほか、チャリティー自動販売機の設置を通じて基金を育成しています。市民の皆様のご協力をよろしくお願いします。

HP 松戸市トップページ ▶ くらし ▶ 市民活動 ▶ 協働のまちづくり（市民活動の活性化と協働の推進） ▶ 協働のまちづくり基金

http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/kikin/index.html

令和7年度 協働のまちづくり基金 寄附者一覧

ご寄附いただきました皆様にお礼申し上げます。

- ・ 東京キリンビバレッジサービス株式会社 様
- ・ コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 松戸支店 様
- ・ 洗濯屋あべ 様
- ・ 株式会社伊藤園 松戸支店 様
- ・ 関東フローズン株式会社 千葉支店 様
- ・ チャリボンを通じて寄附して下さった皆様
- ・ メルカリ寄付を通じて寄附して下さった皆様
- ・ 銀行振込などで直接寄附して下さった皆様

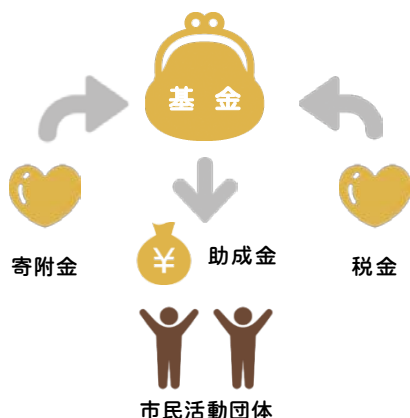
※公表に同意いただいた方のみ掲載しています。



市民活動助成金は

寄附

を活用しています



市民活動助成金は、市民や民間事業者のみなさんから、市民活動団体の支援のために寄せられた「寄附金」と「税金」を合わせた「協働のまちづくり基金」を原資としています。豊かで元気な松戸市を目指して、市民活動を寄附で応援しませんか？

「協働のまちづくり基金」は、皆さんからいただいた寄附金と、その寄附金と同額を市の財源から合わせて積み立てる「マッチングギフト方式」を取り入れています。

チャリティー自動販売機

市内に16台あるチャリティー自動販売機で飲み物を購入すると、売上金の一部が寄附されます。

まつど市民活動
サポートセンター
などに設置しています。

- ・まつど市民活動サポートセンター
- ・市役所駐車場入口
- ・矢切支所
- ・常盤平支所
- ・新松戸支所
- ・ユーカリ交通公園
- ・洗濯屋あべ
- ・常盤平老人福祉センター
- ・シニア交流センター
- ・小金原市民センター
- ・小金支所
- ・ひがまつテラス



チャリティー自販機について
←詳しくはこちら

寄附をお待ち
しています



松戸市協働のまちづくり基金について
詳しくは市ホームページをご覧ください



チャリボン

いらなくなった本をチャリボンに送ると、その本の買取査定額が寄附されます。



CHARITY
BY THE BOOK

メルカリ寄付

メルカリで出品した商品の売上金を、メルペイ残高を通じて寄附できます。



銀行振込

市役所総務課にご連絡の上、銀行振込で直接基金に寄附できます。

発行

令和8年5月

松戸市 市民部 市民自治課

〒271-8588 松戸市根本3 8 7－5

TEL 0 4 7－3 6 6－7 3 1 8

FAX 0 4 7－7 0 4－4 0 0 9

E-mail mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp